

総合特別区域の進捗に係る評価
[アジア拠点化・国際物流分野]

令和元年度

ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年9月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.7+4)/2=4.4$

4.4

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	企業間連携による用役コストの低減	117%	5
2	水島港の輸送効率改善による貨物取扱量	94%	4
3	企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保	186%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 2 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 4.7$

4.7

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例)評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 $(3.8+2.5+3.5)/3=3.3$

3.3

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.8

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.5

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.5

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・コンビナート全体の効率性向上のため、ソフト・ハード面での整備が積極的に行われている。その中で、企業集積によるコンビナートの成長と雇用の確保は目標達成され、近年の数値結果も増加傾向で、一定の評価はできるが、他指標は年ごとに不安定であるため、今後のコンビナート全体の効率性を安定的に上昇させることができるか、今後注視する必要がある。
- ・柔軟なサプライチェーンの構築が必要であり、鉄鋼分野等の市況の大幅悪化の影響なども考慮する必要あり。
- ・規制の特例措置を活用したコスト削減が着実に進捗している。また、集積形成のために更なる新規企業立地が継続的に増加していくことが必要であり、新規立地が継続的に増加するか注視したい。
- ・オフガスの事業所間での融通が進んでいない原因を明らかにして対策を考えるべき。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.4+3.3+4 \times 2) \div 4 = 3.9$

3.9

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。